

# 日本共産党市議会議員団 週刊議会報告

発行  
日本共産党市議団  
岡野長寿  
0845-22-2596  
魚谷さとる  
0848-22-2810

## 昨年度の決算を審査する決算委員会開催

### 岡野議員、魚谷議員が市民要望実現へ論戦

今月2日から昨年度の決算を審査する決算特別委員会(議長と監査委員を除く全議員)が開かれました。共産党議員団の岡野長寿、魚谷さとる両議員は、市民の願いを実現する立場から積極的に質問、論戦しました。その一部を紹介します。

#### 魚谷議員が監査を行った代表委員への質問

魚谷議員 普通交付税と臨時財政対策債を合算した額(実質の交付税)では、約14億9200万円と大きく減少している。実質の地方交付税が減ったことが財政に及ぼす影響についてはどのように考えているか。

代表監査委員 地方交付税と臨時財政対策債を合わせた額(実質的な交付税)は、大きく減少したものとなっている。前年度には基金へ多額の積立が行われたことと比較すると、令和4年度では基金積立額が大幅に減少している。基金残高の確保という点において影響があった。

質問 旧合併特例債や臨時財政対策債等の減にもない地方債残高が減少しているが、その返済には決められたルールが有り、それを公債費として支出しているものがある。それ以外に積極的に地方債残高を減少させるようなものがあったのか、それは何なのかをお尋ねしたい。

答弁 地方債残高を積極的に減少させた要因について、例えば20年間の償還計画としていたものを10年間で償還するような方法に転換したこと、地方債残高が着実に減少していく形となっている。

#### 民間活力の活用で経費削減は本当か？

岡野議員は決算全般について「ホーユー」給食停止事件は民間任せが原因と指摘。今後新しい学校給食調理場の管理は民間任せにせず、公共がしっかり責任をもって管理する体制を構築すべきだと警鐘を鳴らしました。

その上で、民間の管理を任せ、理事者は民間委託で経費が削減されたことにより、市立図書館の図書

#### 人口が計画より千人以上減少に

「9月議会」総務経済委員会で魚谷議員は、尾道市の人口が減っている問題を取り上げ質問しました。市は全国的に人口減少が進む中で、少しでも減りを少なくするための計画を国から求められて、「まち・ひと・しごと創生ビジョン」

を平成27年に作制しており、令和22年に人口規模11万人を維持することを目標としています。人口減少は議会でも度々取り上げられてきました。この目標に対し実際の人口がどうな

っているかを質問。担当課長は、令和5年の予測人口から1083人も減っていると答えました。同議員はビジョンに書いてあるように「若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現」に取り組みよう、改めて求めました。

#### 地震で市役所周辺は大丈夫？

魚谷議員は、南海トラフ地震が発生した時の被害想定を県が作成し、市役所周辺や消防本署や西署周辺が「液化化する危険度は極めて高い又はかなり高い」とされている地域になっていること。また、市役所周辺の道路沿いには木造の古い家屋が多いことから、災害時に災害対策本部になる市役所への交通性や、南側の護岸も壊れる可能性があることを紹介。消防署の救急車や消防車の出動に支障が

人口予測と実際の人口

項目	予測人口	実人口	差
平成27年	139,116	138,626	490 減
令和2年	132,000	131,170	830 減
令和5年	127,780	126,697	1083 減

※平成27年は計画を策定した年

#### 正職員を減らし非正規は増やす

令和4年度は12人の正規職員を減らしました。しかし、非正規職員はドンドン増え、市役所の職員体制はイビツな形になっています。

岡野議員は、市民課の窓口業務が20人の民間社員(竹中平蔵氏の経営していたパソナ)によって行われていることが明らかになったことを受けて、個人情報保護を扱う住民基本台帳業務についてプライバシーを侵害するおそれがないのか質疑を続けました。

現在、正職員581人にに対し、非正規は452人。非正規は平均年収225万円。正職員と大きな開きができています。

また、マイナンバーカードには法律で利用目的が厳しく限定されているマイナンバーの他に、広く民間利用が認められているシリアル番号があることを指摘し、民間企業による営利目的の利用によって個人情報の報告をコントロールする権利(プライバシー権)が侵害されるおそれが大であることと警鐘を鳴らし、民間委託からの転換を求めました。